

## 昆陽池公園の野鳥

尾崎雄二・尾崎由紀（野鳥観察グループ「チームK」）

昆陽池公園とは伊丹市にある公園で広さ 27.8 ヘクタール（甲子園球場の 7.3 倍）であり、もともとは奈良時代の名僧『行基』の指導によって 731 年（天平 3 年）に作られた農業用ため池で、昭和 40 年に伊丹市が公園化を開始した。カモ類などの鳥類の関西有数の越冬地として有名な探鳥地である昆陽池公園であったがカモ類の渡来数が減少し野鳥の楽園としてのイメージが乏しくなっている。その反面、植樹された木々たちが大きく育ち、ここ近年カモ以外の渡り鳥が観察され始めている。特に春秋には多くの渡り鳥が羽を休めに舞い降ります。また当公園は 1950 年代からバードウォッチングの先駆者の方々が大変貴重な記録をとられており、現在まで 220 種類以上の野鳥が観察され、時には大変珍しい鳥も確認されている。そこで昆陽池公園内で野鳥を観察するグループ「チームK」を 2015 年 3 月に立ち上げ、継続観察メンバー間で情報交換することを主な目的として活動を行い、2018 年 2 月 10 日現在で 145 種の野鳥を記録している。

チームK観察鳥種								
No.	目名	種名	No.	目名	種名	No.	目名	種名
1	キジ目	キジ	51	チドリ目	クサシギ	101	スズメ目	センダイムシクイ
2	カモ目	マガン	52	チドリ目	キアシシギ	102	スズメ目	メジロ
3	カモ目	ツクシガモ	53	チドリ目	ソリハシシギ	103	スズメ目	オオヨシキリ
4	カモ目	オンドリ	54	チドリ目	イソシギ	104	スズメ目	コヨシキリ
5	カモ目	オカヨシガモ	55	チドリ目	ユリカモメ	105	スズメ目	ヒレンジャク
6	カモ目	ヨシガモ	56	チドリ目	ズグロカモメ	106	スズメ目	ミノサザイ
7	カモ目	ヒドリガモ	57	チドリ目	ウミネコ	107	スズメ目	ギンムクドリ
8	カモ目	アメリカヒドリ	58	チドリ目	カモメ	108	スズメ目	ムクドリ
9	カモ目	マガモ	59	チドリ目	セグロカモメ	109	スズメ目	コムクドリ
10	カモ目	カルガモ	60	チドリ目	コアジサシ	110	スズメ目	マミジロ
11	カモ目	ハシビロガモ	61	チドリ目	クロハラアジサシ	111	スズメ目	トラツグミ
12	カモ目	オナガガモ	62	チドリ目	ハジロクロハラアジサシ	112	スズメ目	カラアカハラ
13	カモ目	シマアジ	63	タカ目	ミサゴ	113	スズメ目	クロツグミ
14	カモ目	トモエガモ	64	タカ目	ハチクマ	114	スズメ目	マミチャジナイ
15	カモ目	コガモ	65	タカ目	トビ	115	スズメ目	シロハラ
16	カモ目	ホシハジロ	66	タカ目	チュウヒ	116	スズメ目	アカハラ
17	カモ目	キンクロハジロ	67	タカ目	ハイイロチュウヒ	117	スズメ目	ツグミ
18	カモ目	スズガモ	68	タカ目	ツミ	118	スズメ目	コマドリ
19	カモ目	ミコアイサ	69	タカ目	ハイタカ	119	スズメ目	コルリ
20	カモ目	ウミアイサ	70	タカ目	オオタカ	120	スズメ目	ルリビタキ
21	カイツブリ目	カイツブリ	71	タカ目	サシバ	121	スズメ目	ジョウビタキ
22	カイツブリ目	カンムリカイツブリ	72	タカ目	ノスリ	122	スズメ目	ノビタキ
23	カイツブリ目	ハジロカイツブリ	73	フクロウ目	フクロウ	123	スズメ目	イノヒヨドリ
24	ハト目	キジバト	74	フクロウ目	アオバズク	124	スズメ目	エゾビタキ
25	ハト目	アオバト	75	フクロウ目	カワセミ	125	スズメ目	コサメビタキ
26	カツオドリ目	カワウ	76	キツツキ目	コゲラ	126	スズメ目	キビタキ
27	ペリカン目	ゴイサギ	77	ハヤブサ目	チョウゲンボウ	127	スズメ目	ムギマキ
28	ペリカン目	ササゴイ	78	ハヤブサ目	コチョウゲンボウ	128	スズメ目	オオルリ
29	ペリカン目	アカガシラサギ	79	ハヤブサ目	ハヤブサ	129	スズメ目	ニューナイスズメ
30	ペリカン目	アマサギ	80	スズメ目	サンショウクイ	130	スズメ目	スズメ
31	ペリカン目	アオサギ	81	スズメ目	サンコウチョウ	131	スズメ目	キセキレイ
32	ペリカン目	ダイサギ	82	スズメ目	モズ	132	スズメ目	ハクセキレイ
33	ペリカン目	チュウサギ	83	スズメ目	ハシボソガラス	133	スズメ目	セグロセキレイ
34	ペリカン目	コサギ	84	スズメ目	ハシブトガラス	134	スズメ目	アトリ
35	ツル目	クイナ	85	スズメ目	キクイタダキ	135	スズメ目	カワラヒワ
36	ツル目	ヒクイナ	86	スズメ目	ヤマガラ	136	スズメ目	ウソ
37	ツル目	バン	87	スズメ目	シジュウカラ	137	スズメ目	シメ
38	ツル目	オオバン	88	スズメ目	ヒバリ	138	スズメ目	イカル
39	カッコウ目	ホトギス	89	スズメ目	ショウドウツバメ	139	スズメ目	ホオジロ
40	カッコウ目	ツツドリ	90	スズメ目	ツバメ	140	スズメ目	カシラダカ
41	カッコウ目	カッコウ	91	スズメ目	コシアカツバメ	141	スズメ目	ノジコ
42	アマツバメ目	アマツバメ	92	スズメ目	イワツバメ	142	スズメ目	アオジ
43	アマツバメ目	ヒメアマツバメ	93	スズメ目	ヒヨドリ	143	スズメ目	クロジ
44	チドリ目	タケリ	94	スズメ目	ウグイス	144	スズメ目	オオジュリン
45	チドリ目	ケリ	95	スズメ目	ヤブサメ			
46	チドリ目	イカルチドリ	96	スズメ目	エナガ			
47	チドリ目	コチドリ	97	スズメ目	ムジセツカ			
48	チドリ目	ヤマシギ	98	スズメ目	オオムシクイ			
49	チドリ目	タシギ	99	スズメ目	メボソムシクイ			
50	チドリ目	アオアシシギ	100	スズメ目	エゾムシクイ			

その他の活動として下記に示す。

① 野鳥情報ボード更新

2016年11月3日より伊丹市みどり自然課と伊丹市昆虫館の協力のもと設置した。メンバーによって昆陽池公園内で観察した色々な野鳥たちの情報（鳥名及び羽数）を日々更新し、貴重な鳥種についてはメンバーが撮影した写真を掲載し、多くの公園利用者の興味を得ている。

野鳥情報ボード→



② 巣箱の設置

伊丹市の許可を得て、公園内に野鳥用の巣箱を設置しています。アオバズク用巣箱（2個）、フクロウ用巣箱（2個）、シジュウカラ用巣箱（1個）、キビタキ用巣箱（1個）を設置した。現在のところ営巣実績はないが、アオバズクのペアが巣箱に入った実績が昨年（2017年）夏にあった。

フクロウの巣箱設置風景→



③ 観察会の実施

伊丹市昆虫館主催の野鳥観察会を立案し講師の担当。

実施実績：2016年11月12日、2016年12月25日、2017年2月19日、2017年4月30日、2017年12月17日

今後の実施予定：2018年2月18日

観察会風景→



④ タカ渡りイベントの実施

通常は山の頂上や、半島の突端の岬などで観察するタカ渡りを平野部の都市公園で観てみるとどうなるかという挑戦的なイベントも今年で2回目の実施、結果は「鷹の渡らない空はない」ことが証明できた。

2017年タカ渡り観察風景→

2017年タカ渡り観察鳥種及び羽数結果



			開始	終了	合計	ツバ	フタ	ノスリ	-SP-	
9	23	土	9:00	15:30	0					ハヤブサ
	24	日	9:00	16:40	118	16	36	5	61	ハヤブサ2 チョウゲンボウ3 ツミ
	25	月	8:30	15:45	285	195	5		65	
	26	火	8:25	15:00	6	2	1	3		ハヤブサ チョウゲンボウ3
	27	水	9:30	12:30	0					
	28	木	9:30	15:30	1	1				チョウゲンボウ
	29	金	9:00	15:30	3	1		2		チョウゲンボウ
30	土	9:00	15:45	14	8	2	3	1		
10	1	日	9:00	16:00	39	10	11	1	17	

今後もこの「チームK」の活動がひとりでも多くの市民の方や公園利用者みなさんが野鳥たちの可愛い姿やかれらが繰り広げるドラマチックなシーンに出会えるきっかけになればと思います。